

IPv6普及・高度化推進協議会 活動報告(2023年度)

IPv6普及・高度化推進協議会 活動報告(2023年度)

【I】 IPv6普及・高度化推進協議会が関係する主な活動

[1] 2023年度 ワーキンググループ活動成果

- IPv6普及・高度化推進協議会の2022年度活動について ～基本戦略SGより～
- サーティフィケーションWG
- ビジネスラーニングWG
- ビジネスエクスチェンジWG
- IPv4/IPv6共存WG

IPv6家庭用ルーターSWG/IPv6導入に起因する問題検討SWG/アクセス網IPv6サービス導入推進SWG

[2] 会議、セミナーの企画・実施ならびに参加

- IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

[3] IPv6普及・高度化推進協議会支援体制

- Interop Tokyo 2023 [2023年6月14日(水)～6月16日(金)]
- Internet Week 2023 [2023年11月15日(水)～11月22日(水)]

【II】 IPv6普及・高度化推進協議会会員一覧 (2024年3月31日現在)

【I】 IPv6普及・高度化推進協議会が関係する主な活動

[1] 2023年度 ワーキンググループ活動成果

- IPv6普及・高度化推進協議会の2022年度活動について ～基本戦略SGより～
- サーフティフィケーションWG
- ビジネスラーニングWG
- ビジネスエクスチェンジWG
- IPv4/IPv6共存WG

IPv6家庭用ルーターSWG/IPv6導入に起因する問題検討SWG/アクセス網IPv6サービス導入推進SWG

主査 江崎 浩（東京大学大学院）

副査 中村 秀治（(株)三菱総合研究所）

【活動内容】

- ①IPv6普及促進のための戦略策定とフォロー、諸調査、内外関係団体との調整
 - ・IPv6普及高度化に資する関連事業分野での行動と協働
 - ・情報通信サービスの提供・利用に係る内外各種団体との連携推進
- ②プロモーション活動（各種パブリシティや、WEB企画運営、出版等PR活動）
 - ・WEBによるIPv6関連知識のデータベース化と情報交流促進（一部は会員に限定）
 - ・IPv6 Summit TOKYO等のコンベンション・セミナーの開催、参加
 - ・IPv6 Forum等のグローバルなv6関連組織との連携
- ③当協議会の中期的運営方法検討
 - ・理事社、関係機関、団体等と協議
 - ・主要な活動成果や持続するWG等の完結と必要団体への移管、移譲

主査 江崎 浩（東京大学大学院）

【活動内容】

【IPv6 Forum IPv6 Ready Logo Program】

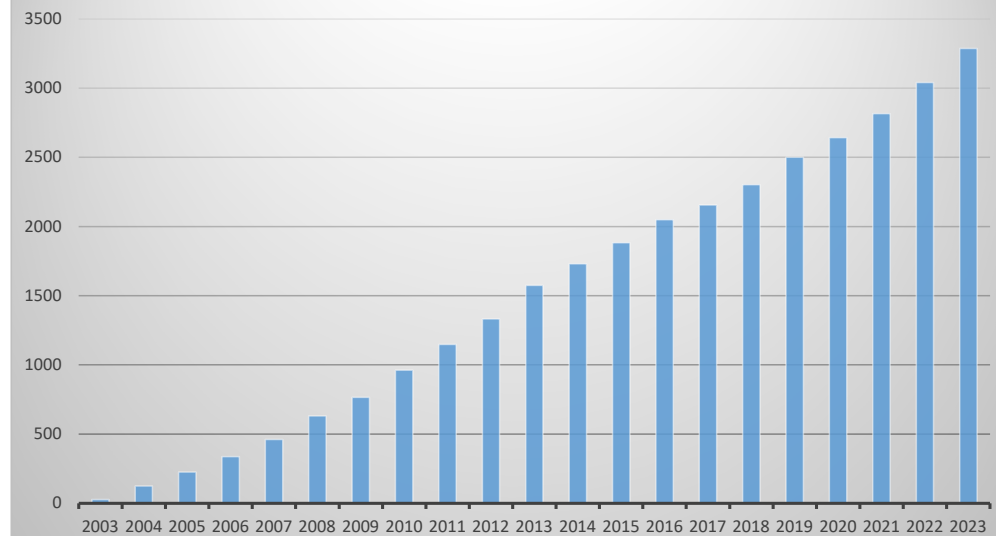
- IPv6 Ready Logo Programの運用継続 (246@2023年、合計3,286)
- 経済産業省および総務省などで進められている活動

でのガイドラインなどの議論に参加

- 「サイバーセキュリティ」対策
 - ビルSWG、
 - 電力SWG (点検ツール／ガイド@2023年)、
 - 工場SWG (別冊スマート化を進める上でのポイント@2023年)、
 - データセンター
- すべての産業のデジタル化 への アーキテクチャ検討
 - IPA DADC(デジタルアーキテクチャ・デザインセンター)

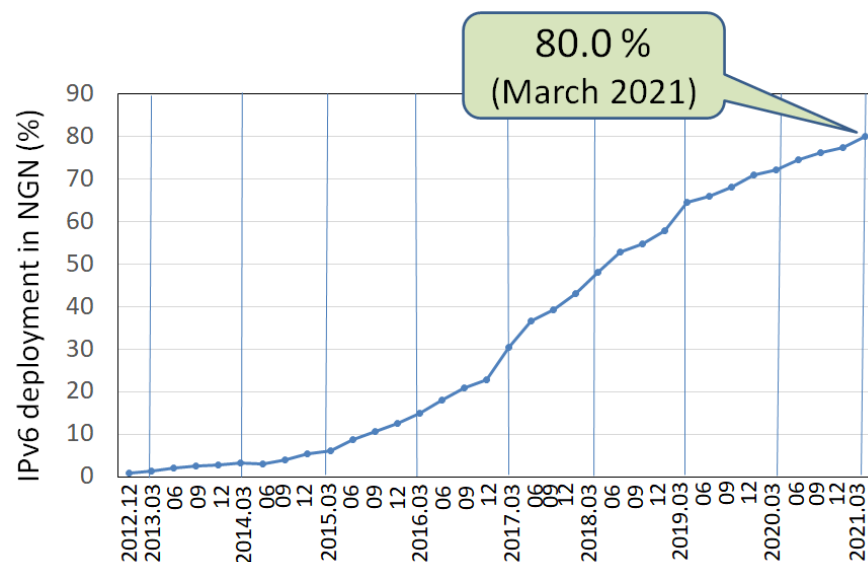


Total Approval Applications (Phase1/Phase2)



IPv6 実利用率

有線アクセス網



※ IPv6普及率が80%に達した2021年3月時点で調査終了済

携帯3社

64.3%@2022年7月



※ IPv6社会実装タスクフォース/IPv6普及・高度化推進協議会アクセス網WG 報告資料より

主査 中村 秀治 ((株)三菱総合研究所)

副査 小野寺 好広 (内閣官房IT総合戦略室) / 荒井 秀和 (株式会社イーサイド)

【活動内容】

■ v6資格認定運用について

- 「インターネットサービス等のIPv6対応及びネットワーク技術者に求められるIPv6関連技術習得に係る基本指針」(総務省)により運用、関係団体との協働
- 最終的には本協議会単独による運用、連携機関の継続的探索

■ 新たなカリキュラムの認定

- 2016年までに、ベーシック4カリキュラム、アドバンス3カリキュラムを認定・運用

■ 認定カリキュラムの実行支援の検討

- 関連団体のカリキュラム、研修プログラム等との連携検討、調整

主査 荒井 秀和（株式会社イーサイド）

【活動内容】

IPv6 Summit in TOKYO 2023の開催

<http://www.jp.ipv6forum.com/>

2013年度～2022年度と同様、Global IP Business Exchangeに代わり、
一般財団法人インターネット協会 IPv6ディプロイメント委員会との共催で開催した。

- 開催日 2023年12月12日(火) 13:30-17:30
- 会場 TKPガーデンシティPREMIUM京橋 / オンライン
- 対象者 IPv6に関心をもつ技術者、ネットワークオペレータ、一般市民、官公庁等
- 参加料 事前登録制：無料
- 参加者数 143名（他関係者 30名）
- プログラム概要

－基調講演1：「ICTの発展と今後の潮流 - IPv6, AI, セキュリティ-」

－基調講演2：「IPv6普及・高度化推進協議会の活動とこれからのICT社会」

－情報提供セッション

・報告1：「IPv6社会実装タスクフォース/IPv6普及・高度化推進協議会 アクセス網WG 報告」

・報告2：「IPv6を取り巻く状況」

・報告3：「IPv6普及・高度化推進協議会 IPv4/IPv6共存WG IPv6家庭用ルータSWG 報告」

・報告4：「IPv6ディプロイメント委員会 活動紹介」

－パネルセッション：「激変するデジタル社会とそれを支えるIPv6 - AI・メタバース・セキュリティ-」

IPv4/IPv6共存WG

主査 荒野 高志（株式会社ネクスウェイ）

副査 藤崎 智宏（NTTコミュニケーションズ株式会社）

【活動内容】

3つのSWGにて活動を実施

① IPv6家庭用ルータSWG

「IPv6家庭用ルータガイドライン 第三版」発行

② IPv6導入に起因する問題検討SWG

部会長間にてクロージングに向けたディスカッションを実施

③ アクセス網IPv6サービス導入推進SWG

- アクセス網におけるIPv6の普及状況調査を2012年から実施、定期的に公開。固定網については2021年3月に80%にまで達し終了、携帯網も2024年3月に73.8%に達し終了。
- IPv6社会実装推進タスクフォースのアクセス網WGと合同で2ヶ月に1回SWGを開催し関係者間で情報を共有
- その他、コンテンツ・サービスのIPv6対応など、IPv6のさらなる普及に向けた個々のトピックについて、対応方策の検討、情報共有を実施

IPv4/IPv6共存WG IPv6家庭用ルータSWG

【体制】

部会長 藤崎 智宏 (NTTコミュニケーションズ株式会社)
部会長 川島 正伸 (NECプラットフォームズ株式会社)
部会長 佐原 具幸 (株式会社インターネットイニシアティブ)

【SWGの目的】

インターネット利用者がスムーズにIPv6環境に対応できるようにISPのIPv6サービス提供に必要な家庭内ルータ機能のベースライン（最小限の共通認識）をインターネット利用者の視点からまとめる

【活動内容】

「IPv6家庭用ルータガイドライン 第三版」発行（2024年2月13日）
https://www.v6pc.jp/jp/pdf/v6hgw_Guideline_3.0.pdf

IPv4/IPv6共存WG IPv6導入に起因する問題検討SWG

【体制】

部会長 藤崎 智宏 (NTTコミュニケーションズ株式会社)
部会長 新 善文 (アラクサネットワークス株式会社)
部会長 北口 善明 (東京工業大学)

【SWGの目的】

コンシューマ向けIPv6サービスの提供開始から数年が経過した。現状、多くのユーザネットワークはIPv6/IPv4混在環境となっており、それに伴い数々の問題の発生している。本WGでは、IPv6導入後に発生している問題を取りまとめ、問題に対する解法を検討、共有することで、IPv6サービスの円滑な導入を支援し、IPv6の利用を促進することを目的とする

【活動内容】

部会長間にてクロージングに向けたディスカッションを実施

IPv4/IPv6共存WG アクセス網IPv6サービス導入推進SWG

【体制】

部会長 江崎 浩 (専務理事/東京大学)

部会長 中村 修 (常務理事/慶應義塾大学)

【SWGの目的】

IPv6サービスの普及・導入を推進するために必要な技術面、運用面およびビジネス面での課題を整理し、その解決手法を提案・実施するとともに、IPv6サービスの導入の進捗を把握可能な測定手法を検討・導入することで、IPv6サービスの導入を推進する

【活動内容】

- アクセス網におけるIPv6の普及状況調査を2012年から実施、定期的に公開。固定網については2021年3月に80%にまで達し終了、携帯網も2024年3月に73.8%に達し終了
- IPv6社会実装推進タスクフォースのアクセス網WGと合同で2ヶ月に1回SWGを開催し関係者間で情報を共有
- その他、コンテンツ・サービスのIPv6対応など、IPv6のさらなる普及に向けた個々のトピックについて、対応方策の検討、情報共有を実施

【I】 IPv6普及・高度化推進協議会が関係する主な活動

- [2] 会議、セミナーの企画・実施ならびに参加
 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

グローバルパンデミックの歴史的な3年間、ウクライナ侵攻などをきっかけとした経済安全保障的な議論、そして、急激に認識が進むAIや生成AIのサービスなどDXの進む社会においてインターネットのライフラインとしての基盤性が再認識されています。

動画配信やゲーム利用のみならず、リモートワークや遠隔授業といった多種多様な利用と、それに伴うインターネットトラフィックの増大に対応し、品質の高い、長時間安定的に利用出来る通信環境を実現するために、IPv6を利用したIPoE接続が急速に普及しました。

また、携帯網においても5G化が進んでおり、IPv6対応も進展しています。この、サービス網をIPv6のみで構築し、IPv4インターネットへの接続性をその網上で”サービス”として提供するIPv4aaS (IPv4 as a Service) の普及は、世界的なIPv6利用の動きとも合致しており、例えば米国の大手事業者において、ネットワークの運用コスト低減等を目的とし、コアネットワークをIPv6のみにする等の実装も報告されています。このように、IPv6は多くの環境で、一般的に利用されるようになってきました。

実際の利用状況を見ても、世界各国にサービスを展開している大手コンテンツ事業者の公開統計情報によると、IPv6を利用して接続してくるユーザの割合が40%超えてきています(2022年10現在)。

技術開発方面でも、標準化団体のIETFにおいて、既にIPv4の改善は止められています。更に、IPv6のプロトコル仕様がIPv4と同レベルの「インターネット標準」となるといったインターネット標準化方面での動きや、国際的なインターネット関連組織であるInternet Society (ISOC)、Internet Engineering Task Force(IETF)、各地域インターネットレジストリや、国連配下の Internet Governance Forum(IGF)、各国政府、経済界、各国における業界団体等におけるIPv6対応の各種施策の進展等、IPv6を取り巻く環境に大きな変化が出てきています。

2023年には、IETFの115回定例ミーティングが横浜で開催されることをはじめとして、IGFや、地域インターネットレジストリであるAPNICのミーティングが日本で開催される予定であり、国際組織によるIPv6を含めたインターネットの重要性議論が身近で実施されることとなっております。

このような社会情勢において、IPv6への理解をすすめて頂くための機会として「IPv6 Summit in TOKYO 2023」を開催いたします。本Summitにおいては、IPv6技術の動向、IPv6に関するホットトピック等をお伝えします。また、パネル討論等を通じ、IPv6社会実装について、皆様とともに議論いたしました。

IPv6普及・高度化推進協議会 会長 村井 純
一般財団法人インターネット協会 IPv6ディプロイメント委員会 委員長 細谷 僚一

[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

-- 開催概要 --

名 称	IPv6 Summit in TOKYO 2023 - 潮目が変わったIPv6、「普及推進」からリアルな「高度利用」へ -	運 営	IPv6普及・高度化推進協議会事務局 (株式会社イーサイド内)
会 期	2023年12月12日(火) 13:30-17:30	会 場	ハイブリット開催 TKPガーデンシティPREMIUM京橋 〒104-0031東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン 22階 オンライン: Zoom ウェビナー
主 催	IPv6普及・高度化推進協議会 一般財団法人インターネット協会IPv6ディプロイメント委員会	構成内容	カンファレンス、講演
後 援	デジタル庁 総務省 経済産業省 インターネットソサエティ日本支部(ISOC-JP) 九州インターネットプロジェクト 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA) 広島地域IPv6推進委員会 一般社団法人LOCAL	参加費	事前登録制：無料
特別協力	IPv6社会実装推進タスクフォース	参加登録者数	205名
協 力	一般社団法人 高度ITアーキテクト育成協議会(AITAC) 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC) WIDEプロジェクト	参加者数	143名 (他関係者 30名)

[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

-- プログラム --

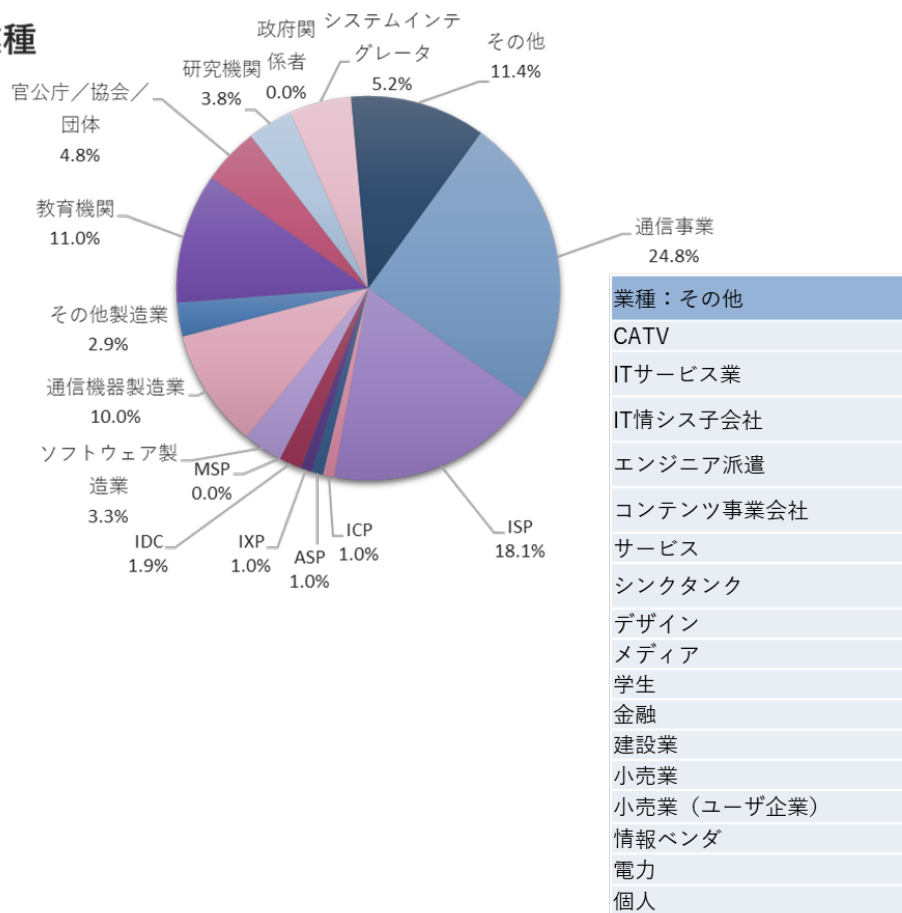
13:30 - 13:50	開会のご挨拶 主催挨拶 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 / IPv6普及・高度化推進協議会 専務理事 江崎 浩 氏 ビデオレター 慶應義塾大学 教授 / IPv6普及・高度化推進協議会 会長 村井 純 氏 来賓挨拶 総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課課長 西潟 暢央 氏 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 係長 北 侑祐 氏	情報提供セッション 報告1: 「IPv6社会実装タスクフォース/IPv6普及・高度化推進協議会 アクセス網WG 報告」 IPv6社会実装タスクフォース / IPv6普及・高度化推進協議会 / 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 木村 孝 氏 報告2: 「IPv6を取り巻く状況」 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター 川端 宏生 氏 報告3: 「IPv6普及・高度化推進協議会 IPv4/IPv6共存WG IPv6家庭用ルータSWG 報告」 NECプラットフォームズ株式会社 / IPv6普及・高度化推進協議会 川島 正伸 氏 報告4: 「IPv6ディプロイメント委員会活動紹介」 一般財団法人インターネット協会 IPv6ディプロイメント委員会 藤崎 智宏 氏
13:50 - 14:20	基調講演1: 「ICTの発展と今後の潮流 - IPv6, AI, セキュリティ -」 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 / IPv6普及・高度化推進協議会 専務理事 江崎 浩 氏	16:10 - 16:25 休憩
14:20 - 14:30	休憩	パネルディスカッション: 「激変するデジタル社会とそれを支えるIPv6 - AI・メタバース・セキュリティ -」 コーディネータ: 慶應義塾大学 環境情報学部 教授 / IPv6普及・高度化推進協議会 常務理事 中村 修 氏
14:30 - 15:00	基調講演2: 「IPv6普及・高度化推進協議会の活動とこれからのICT社会」 株式会社三菱総合研究所 / IPv6普及・高度化推進協議会 中村 秀治 氏 【概要】 IPv6普及・高度化推進協議会のこれまでの活動を振り返り、その成果と今後の発展について。	パネリスト: 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター 前村 昌紀 氏 一般社団法人IPoE協議会 石田 慶樹 氏 総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課課長 西潟 暢央 氏 一般社団法人インターネット協会 IPv6ディプロイメント委員会 新 善文 氏 アラクスネットワークス(株)
15:00 - 15:10	休憩	閉会のご挨拶 一般財団法人インターネット協会 IPv6ディプロイメント委員会 委員長 細谷 僚一 氏

[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

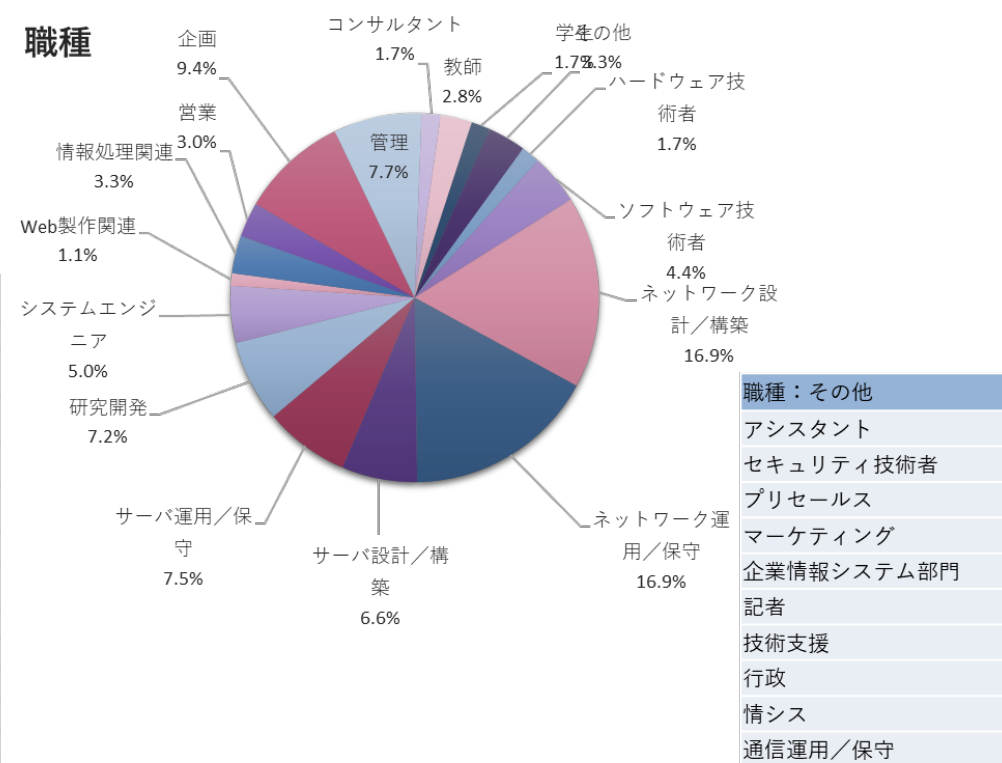
■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

--登録者属性（業種別分類、職種別分類）--

業種



職種



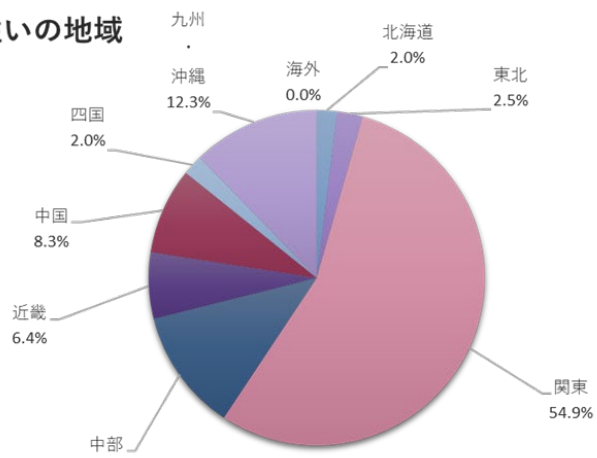
[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

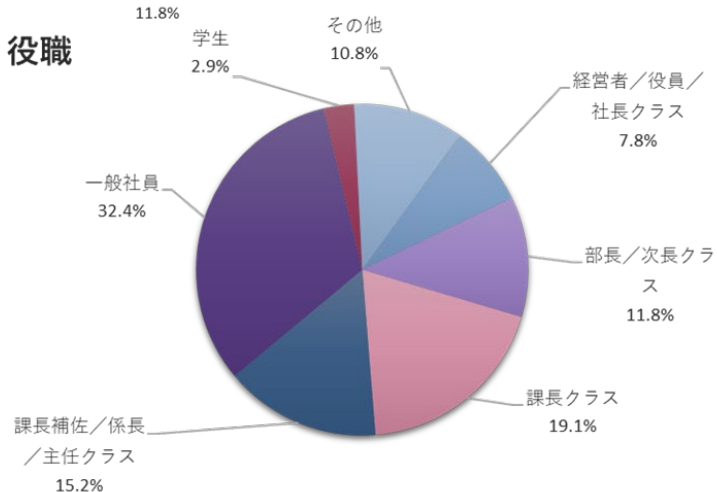
--登録者属性（地域、役職、年齢）--

お住いの地域							
北海道	北海道	4	4	中国	鳥取県	1	17
東北	青森県	1	5		島根県	1	
	岩手県	0			岡山県	1	
	宮城県	3			広島県	13	
	秋田県	0			山口県	1	
	山形県	1		四国	徳島県	2	4
福島県	0	香川県	0				
関東	茨城県	4	愛媛県		0		
	栃木県	2	高知県	2			
	群馬県	0	九州・沖縄	福岡県	22	25	
	埼玉県	8		佐賀県	1		
	千葉県	9		長崎県	0		
	東京都	68		熊本県	1		
	神奈川県	21		大分県	0		
中部	新潟県	2		宮崎県	1		
	富山県	2		鹿児島県	0		
	石川県	2	沖縄県	0			
	福井県	0	国外	海外	0	0	
	山梨県	7	計		204	204	
	長野県	1					
	岐阜県	1					
近畿	静岡県	5					
	愛知県	4					
	三重県	1					
	滋賀県	0					
	京都府	0					
	大阪府	9					
近畿	兵庫県	1					
	奈良県	2					
	和歌山県	0					

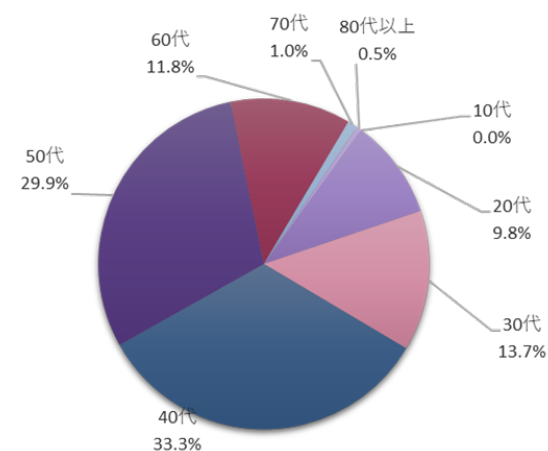
お住いの地域



役職



年齢



役職：その他

教授 2名	Researcher
キャリアエキスパート	事業主
シニアエキスパート	准教授
パート	情報化推進アドバイザー
フェロー	代表
フリーランス	調査役
教員	特任教授

[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

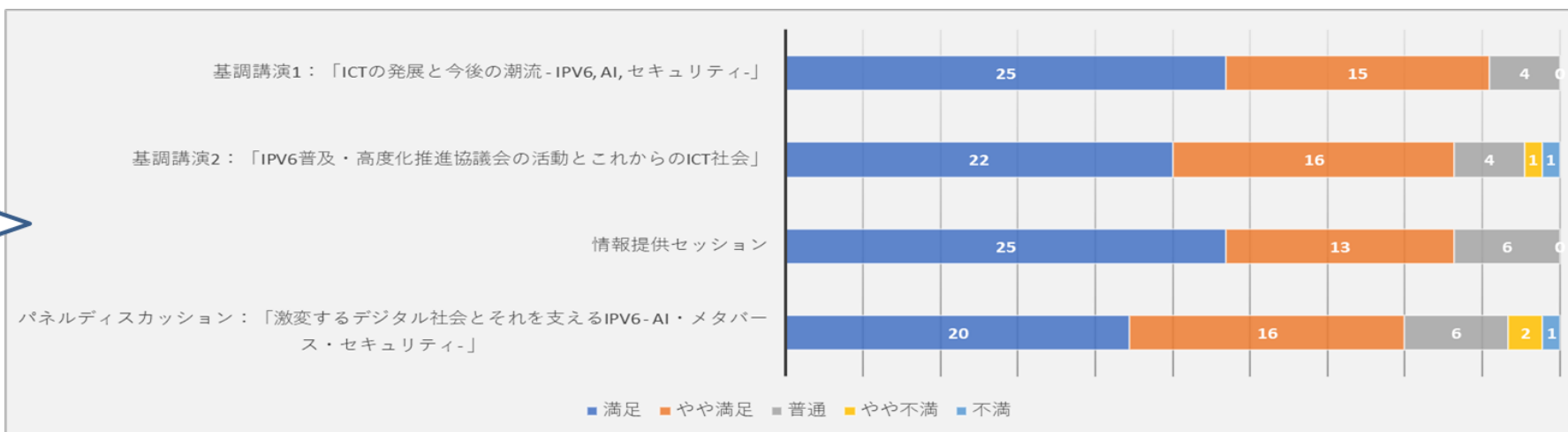
■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

--参加者アンケート--

1) プログラムの満足度

参加者の皆様に5段階評価で回答していただきました。

平均POINTは、4.33であり、満足度は得られているものと考えられます。

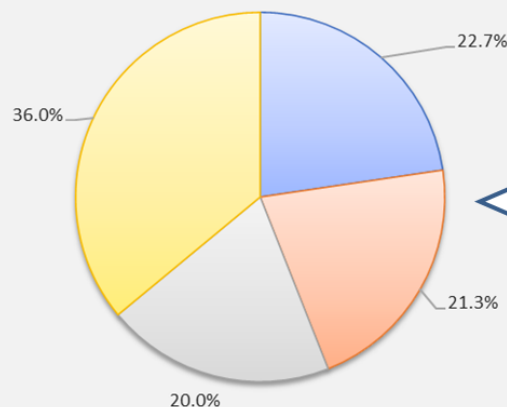


■ 基調講演1: 「ICTの発展と今後の潮流-IPv6, AI, セキュリティ-」

■ 基調講演2: 「IPv6普及・高度化推進協議会の活動とこれからのICT社会」

□ 情報提供セッション

■ パネルディスカッション: 「激変するデジタル社会とそれを支えるIPv6-AI・メタパース・セキュリティ-」



2) 「IPv6にビジネスとして取り組まねばならない」という印象を強く感じたプログラム

プログラム全体を通して、期待できると感じていると回答が多かったです。

[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

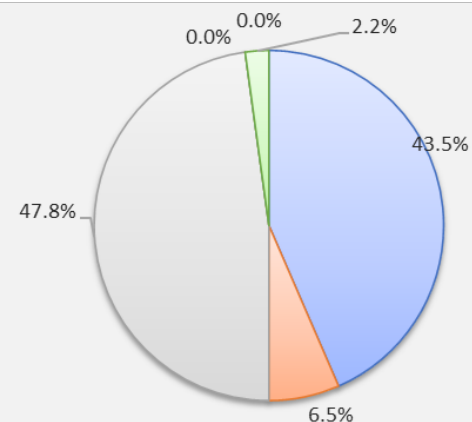
■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

--参加者アンケート--

3) 本イベントを通じて、IPv6に関する行動はどう変わるか、一番近いものを選択してください。

「引き続き情報収集を行いたい」とともに「今後導入する製品はIPv6対応を重視していきたい」という意見がほとんどでした。

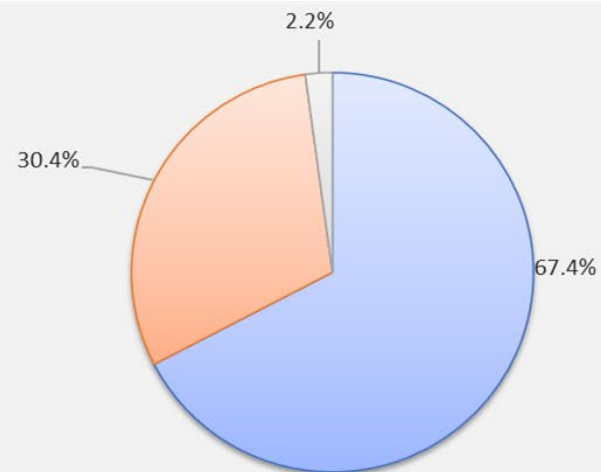
- ☒ 1. 今後導入する製品はIPv6対応を重視していきたい
- ☒ 2. 近い将来商品化に取り組んでいきたい
- ☐ 3. 引き続き情報収集を行いたい
- ☐ 4. 自社のビジネス活動についてはまだ何もしない
- ☐ 5. IPv6対応の必要はない
- ☐ 6. 特に変わらないわからない



4) ご自宅で使用されているインターネット回線はIPv6に対応していますか。

7割の方がIPv6に対応しているという結果でした。

- ☒ IPv6に対応している
- ☒ IPv4だけを使用
- ☐ どちらかわからない



[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

--参加者アンケート--

5) 今回のプログラム内容について、ご意見、ご感想などがありましたらお聞かせください。

- IPv6の現状を多角的に話を聞くことができ、大変参考になりました。
- IPv6を取り巻く状況について知ることができるので、大変ありがたく思っております。今回は、タイトルにAI・メタバース・セキュリティなどの言葉が入っていて、どのように関わっているのか楽しみにしておりましたが、その点はまだこれからというところでしょうか？v6との関わりがちょっとよく分からなかったです。
- IPv6普及・高度化推進協議会の長い歴史と活動を振り返り、成果を確認するとともに、反省点を考える内容で、大変参考になりました。
- アクセス回線を提供している事業者として、IPv6シングルスタックへの道筋について、都心部と田舎地域とで乖離があると感じた。ただし、将来的にはシングルスタックへしていかなければならないことは確かなので、どのように進めていくのが良いか検討していかなければならないという意識を強く持つことができ、良い機会を与えていただけたと思います。ありがとうございました。
- これだけIPv6が普及してしまった現在では「IPv6を広める」ことをテーマにしても無理があるので、動画配信でIPv6がうまく活用されているような、「こういう分野ではIPv6が具体的にこううまく使える」といった方向に方針転換した方が良いのではないのでしょうか。
- コンテンツ側が対応しないのは支出するだけのモチベーションがないからという、以前からの状況が何も変わっていないことが問題だと思いました。新様のおっしゃるように、もう少しコンテンツや機器側に寄り添った活動に変わらないと、ネットワーク側だけ対応して何も進まない、という状況は変わらないと思います。
- ネットワーク機器・セキュリティ対策で新陳代謝的な更新を支援していけるような体制の高築を目指すとか？ 機器更新の為に機材提供・設置支援を行政的な仕組みで資金を持ち寄る？ボランティアで参加、お金をもらえるような仕組みがあったら面白そう。シルバーなIT人材の活用？
- メタバースのことをもっと詳しく話して欲しいと思いました。
- 今回のIPv6 Summitで一応の区切りですね。20年以上前から参加しており、感慨深いものがあります。松山と鹿児島での地域Summitでは、協力させていただいたことを懐かしく思い出しながら聴いていました。
- 集合住宅、家庭用ルーターに対しての活動を知ることができて良かったですか。
- 動画の公開はありますか？資料の撮影ができなかったのも。またX(Twitter)のハッシュタグは作ってほしいです。参加者の間で情報共有したいので
- 非常にIPv6の潮目を感じるフォーラムでした。このような場の必要性を実感しました。

[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

--参加者アンケート--

6) 次回開催に向けて取り上げてほしいテーマがあればお聞かせください。

- 「IPv6の運用って難しくないんですか？安全なんですか？」IPv6オンリーの世界を想像してみると、例えばネットにつながらない場合、まず最初にping飛ばしますが、IPv6アドレスで入力するのは大変だなとか、DNSも面倒そう、ルーティングテーブルも分かりにくそうなど、ネガティブな発想しか出てこないのですが、そのあたり、現場はどうなのか知りたいです。
- IPv4からIPv6へのマイグレーションシナリオ(未だにIPv6へ完全移行できない理由とは?)
- IPv4の終焉には何が必要なのか？
- IPv6普及に向けて、まだ多くの課題があることが確認できたと思います。今後の活動枠組みや方向などについて検討することが必要ではないでしょうか。
- 企業内ネットワークのIPv6化を考えたいが、ネットワーク接続機器管理について、利便性・価格・実績を考慮した際、現実的なソリューションがなかなか見当たらない。企業内ネットワークのIPv6化(それもsingle-stackで)で、現実的なソリューションの道筋が知りたい。(実質、危機管理ソリューションとなり、ネットワークレイヤー問よりは、アプリケーションレイヤーになってしまうのですが、現実業務を考えたときに、ネットワークとアプリケーション双方を踏まえた上での最適化を考える必要があるわけで、どんなにIPv6のネットワークがすばらしくても、それだけでIPv6を選ぶことはできないのが現実です。)
- 人材育成、中小企業や地方におけるIPv6利用
- 前回・今回と懐古的な話題が結構ありそれが楽しいので、「歴史ミニパネルセッション」のような枠を用意されるのもよいかと思いました。

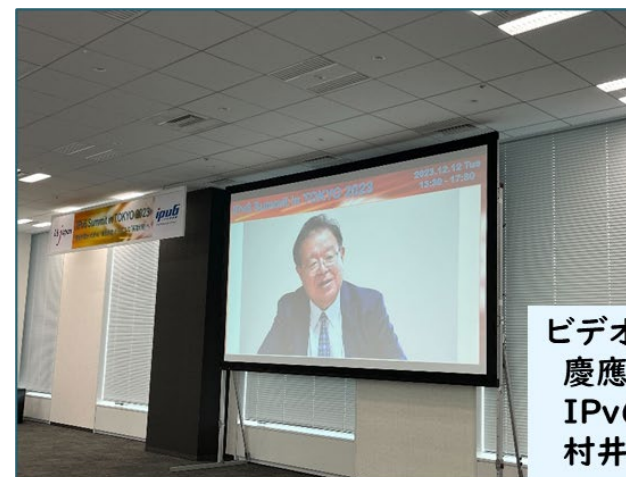
[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

--開催内容風景--



会場内風景



ビデオレター
慶應義塾大学 教授/
IPv6普及・高度化推進協議会 会長
村井 純 氏



来賓挨拶
総務省 総合通信基盤局
電気通信事業部 データ通信課課長
西潟 暢央 氏



来賓挨拶
経済産業省 商務情報政策局
情報経済課 係長
北 侑祐 氏

[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

--開催内容風景--



基調講演1:

「ICTの発展と今後の潮流 - IPv6, AI, セキュリティー」

東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 /

IPv6普及・高度化推進協議会 専務理事

江崎 浩 氏



基調講演2:

「IPv6普及・高度化推進協議会の活動とこれからのICT社会」

株式会社三菱総合研究所 /

IPv6普及・高度化推進協議会

中村 秀治 氏

[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

--開催内容風景--

報告1:「IPv6社会実装タスクフォース/
IPv6普及・高度化推進協議会アクセス網WG 報告」
IPv6社会実装タスクフォース / IPv6普及・高度化推進協議会/
一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
木村 孝 氏



報告2:「IPv6を取り巻く状況」
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
川端 宏生 氏



報告3:「IPv6普及・高度化推進協議会
IPv4/IPv6共存WG IPv6家庭用ルータSWG 報告」
NECプラットフォームズ株式会社 /
IPv6普及・高度化推進協議会
川島 正伸 氏



報告4:「IPv6ディプロイメント委員会 活動紹介」
一般財団法人インターネット協会
IPv6ディプロイメント委員会
藤崎 智宏 氏



[2]会議、セミナーの企画・実施ならびに参加 - IPv6 Summit in TOKYO 2023 [2023年12月12日(火)]

■ IPv6 Summit in TOKYO 2023 開催報告書

--開催内容風景--



パネルディスカッション:

「激変するデジタル社会とそれを支えるIPv6 - AI・メタバース・セキュリティ -」

コーディネータ:

慶應義塾大学 環境情報学部 教授 /
IPv6普及・高度化推進協議会 常務理事 中村 修 氏

パネリスト:

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
前村 昌紀 氏
一般社団法人IPoE協議会
石田 慶樹 氏
総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課課長
西潟 暢央氏
一般社団法人インターネット協会 IPv6ディプロイメント委員会
アラクサラネットワークス(株)
新 善文 氏

閉会のご挨拶

一般財団法人インターネット協会 IPv6ディプロイメント委員会 委員長
細谷 僚一 氏



【I】 IPv6普及・高度化推進協議会が関係する主な活動

[3] IPv6普及・高度化推進協議会支援体制

- Interop Tokyo 2023 [2023年6月14日(水)～6月16日(金)]
- Internet Week 2023 [2023年11月15日(水)～11月22日(水)]



[4] IPv6普及・高度化推進協議会支援体制

Interop Tokyo 2023

[2023年6月14日(水)～6月16日(金)]

Interop[®]23
Tokyo JUNE 14-16
MAKUHARI MESSE, JAPAN

開催概要

名称 Interop Tokyo 2023

会期 Interop Tokyo 2023 (幕張メッセ開催)

展示会/展示会場内セミナー (国際展示場 展示ホール4～7)

2023年6月14日(水)～16日(金)
10:00～18:00 (最終日のみ 17:00 終了)

基調講演 (国際会議場2F)

2023年6月14日(水)～16日(金)
9:30～ (初日のみ Opening 9:15 開始)

Interop Tokyo カンファレンス (国際会議場1F) ※参加には別途ご登録が必要です

2023年6月14日(水)～16日(金)

[カンファレンス 詳細はこちら](#)

Interop Tokyo 2023 (オンライン開催)

ユーザーマイページにて実施

2023年7月3日(月)10:00～31日(月)17:00

会場 幕張メッセ (国際展示場 展示ホール4～7/国際会議場)

主催 [Interop Tokyo 実行委員会](#)

運営 [一般財団法人インターネット協会](#)
[株式会社ナノオプト・メディア](#)

特別協力 [WIDEプロジェクト](#)

入場について

展示会・講演 (基調講演・会場内セミナー・専門セミナー)

オンライン登録制: 無料 (会期3日間有効)

※オンライン以外の当日登録は、入場料5,000円(税込)が発生します。

Interop Tokyo カンファレンス

オンライン登録: 有料

※カンファレンス参加は、別途ご登録が必要です。

後援

総務省、文部科学省、経済産業省、デジタル庁、千葉県、千葉市、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、独立行政法人中小企業基盤整備機構、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、一般社団法人ICT-ISAC、一般社団法人Edgecrossコンソーシアム、一般社団法人公衆無線LAN設置管理機構、一般社団法人ソフトウェア協会、一般社団法人JPCERT コーディネーションセンター、一般社団法人情報サービス産業協会、一般社団法人情報処理学会、一般社団法人情報処理安全確保支援士会、一般社団法人情報通信技術委員会、一般社団法人人工知能ビジネス創出協会、一般社団法人セキュアドローン協議会、一般財団法人革の根サイバーセキュリティ推進協議会、一般社団法人測位航法学会、一般社団法人体験設計支援コンソーシアム、一般社団法人テレコムサービス協会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人東京ニュービジネス協議会、一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会、一般社団法人日本Web協会、一般社団法人日本クラウド産業協会、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会(日本シーサート協議会)、一般社団法人日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム、一般社団法人日本ドローンコンソーシアム、一般社団法人日本ネットワークインフラエンジニアリングセンター、一般社団法人日本ブロックチェーン協会、一般社団法人日本UAS産業振興協議会、一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会、一般社団法人日本リモートセンシング学会、一般社団法人Fintech協会、一般社団法人ブロックチェーン推進協会、一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム、公益財団法人金融情報システムセンター、一般社団法人全国地域情報化推進協会、一般財団法人日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会、公益財団法人ソフトピアジャパン、一般財団法人デジタルコンテンツ協会、一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター、一般財団法人日本情報経済社会推進協会、一般財団法人日本データ通信協会、一般財団法人マルチメディア振興センター、GS1 Japan、特定非営利活動法人ITコーディネータ協会、特定非営利活動法人国際CIO学会、特定非営利活動法人NPO情報セキュリティフォーラム、特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会、特定非営利活動法人日本システム監査人協会、特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会、特定非営利活動法人日本データセンター協会、特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会、特定非営利活動法人日本ファクトニクス協議会、特定非営利活動団体ビジネスシステムイニシアティブ協会(BSIA)、IPv6普及・高度化推進協議会、アジアITソフトウェア開発技術者検定試験コンソーシアム、インターネットITS協議会、ORIN協議会、第5世代モバイル推進フォーラム、日本セキュリティオペレーション事業者協議会(ISOG-J)、日本商工会議所、BICS日本支部、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会、World Wide Web Consortium(W3C) (4月5日現在、申請中含む)

同時開催

[デジタルサイネージ ジャパン 2023](#)

[APPS JAPAN 2023](#)

[画像認識 AI Expo 2023](#)

[4] IPv6普及・高度化推進協議会支援体制

Internet Week 2023

[2023年11月15日(水)～22日(水)]



OUTLINE

実行委員長からのご挨拶

テーマ	「集まれ！インターネットワーキング！」
開催日程	2023年11月15日(水)から11月22日(水) ※土日祝日を除く [オンライン Week] 11月15日(水)、16日(木)、17日(金) [カンファレンス Week] 11月20日(月)、21日(火)、22日(水) ※後日、ご講演者様のご了承が得られた講演がオンデマンドで視聴可能！
会場	オンライン + 東京大学 伊藤記念ホール ※カンファレンスWeekのみ会場提供(同時配信なし)
開催目的	1.インターネットの発展を推進する 2.インターネットに関する議論の場・交流の場を提供する 3.セミナー開催によるインターネット基盤技術の普及を図る

対象者	インターネットの技術者およびインターネット技術と社会動向に興味のある方
内容	インターネットに関するチュートリアル、最新動向セミナー、ハンズオンセミナー、協賛団体セミナー、BoF等
主催	一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)
企画・運営	Internet Week 2023実行委員会およびプログラム委員会
協賛	株式会社日本レジストリサービス アリスタネットワークスジャパン合同会社 BBIX株式会社 インターネットマルチフィード株式会社 株式会社エーピーコミュニケーションズ KDDI株式会社 株式会社JPIX センコーアドバンス株式会社 エンタメ総合メディア「ユーウォッチ」operated by GEAR APNIC

【II】 IPv6普及・高度化推進協議会会員一覧 (2024年3月31日現在)

【II】IPv6普及・高度化推進協議会 会員一覧(2024年3月31日現在)

会員数法人40社(後援会員含)・個人104名

理事

株式会社イーサイド	KDDI株式会社	富士通株式会社
株式会社インターネットイニシアティブ	シスコシステムズ合同会社	フリービット株式会社
株式会社インテック	日本電気株式会社	
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	日本マイクロソフト株式会社	

法人

株式会社アイ・オー・データ機器	株式会社創夢	株式会社ネクステック
アクセリア株式会社	ソニー株式会社	株式会社バッファロー
アラクサネットワークス株式会社	ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	東日本電信電話株式会社
アルテリア・ネットワークス株式会社	中央電子株式会社	株式会社三菱総合研究所
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	TOA株式会社	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
インターネットマルチフィード株式会社	株式会社ナノオプト・メディア	株式会社MONSTER DIVE
コニカミノルタ株式会社	西日本電信電話株式会社	ヤマハ株式会社
さくらインターネット株式会社	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟	
ジュニパーネットワークス株式会社	一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター	

後援

ICT教育推進協議会	特定非営利活動法人日本医療情報ネットワーク協会
一般財団法人インターネット協会	一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	

最後に・・・

IPv6普及・高度化推進協議会は、2001年より様々な皆様のお力添えの中、活動して参りました。2024年3月19日(火)に慶應義塾大学 三田キャンパス東館 8 階ホール(東京都港区)に於いて、2023年度総会を開催し、会員の皆様の承認を得て、2023年度を以ってIPv6普及・高度化推進協議会の活動を完了いたしました。

長きに渡り、会員ならびに関係者の皆様の多大なるご支援とご協力により、活動完了を迎えることができました。心より感謝申し上げます。